

このへ 議会 会だより

Gonoh e Assembly News

議会広報
令和3年1月
第38号

第9回定例会(令和2年12月定例会)

第8回臨時会・第9回定例会…2
議員インタビュー……………12

一般質問(6人)……………5
議員表彰・編集後記…14
所管事務調査…11

新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願って



大字倉石又重の館町地区にて門松を設置

門松には、正月に年神を迎え入れるための依り代という意味合いがあり、館町青年部では、健やかな新年を迎えようと、年末恒例で門松づくりを行っている。

第8回 令和2年10月 臨時会

10月14日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 3件			
原案可決	同意	承認	認定
3件	0件	0件	0件

町長提出案件

補正予算 3件

① 一般会計補正予算 (第7号)

・補正額(増額)

6941万2千円

・予算総額(補正後)

112億6665万9千円

【主な内容】

- ・住民集会施設コロナ感染症対策事業費補助金 1260万円
- ・病院事業会計負担金 808万5千円
- ・高齢者インフルエンザ予防接種業務委託料 1260万円
- ・一般インフルエンザ予防接種業務委託料 2319万5千円
- ・ふれあい市ごのへ改修工事費 510万6千円



ふれあい市ごのへ

② 住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

17万3千円

・予算総額(補正後)

416万2千円

【主な内容】

- ・集会施設自動水栓取付工事費 17万3千円

③ 病院事業会計補正予算(第3号)

○資本的収入

808万5千円増の4億473万1千円

【主な内容】

- ・一般会計からの繰入金によるもの
- 資本的支出 808万5千円増の6億1539万2千円
- 【主な内容】
- ・病院施設整備費の追加によるもの

審議の結果

全員賛成で可決

第9回 令和2年12月 定例会

11月30日から12月4日までの5日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 34件			
原案可決	同意	承認	認定
33件	1件	0件	0件

町長提出案件

協議 4件

① 十和田地区環境整備事務組合の解散について

【内容】

- ・令和3年3月31日をもって十和田地区環境整備事務組合を解散することについて協議するもの

② 十和田地区環境整備事務組合の解散に伴う財産処分及び事務承継について

- ・令和3年3月31日をもって十和田地区環境整備事務組合を解散することに伴い、同組合の財産処分及び事務承継について協議するもの

【内容】

- ・令和3年3月31日をもって十和田地区環境整備事務組合を解散することに伴い、同組合の財産処分及び事務承継について協議するもの

③ 十和田地域広域事務組合の共同処理する事務の変更及び十和田地域広域事務組合規約の変更について

- ・十和田地域広域事務組合の共同処理する事務

【内容】

- ・十和田地域広域事務組合の共同処理する事務

に、し尿及び浄化槽汚泥の前処理を行う施設の設定及び管理運営に関する事務等を加えるとともに、監査委員の選任の方法を見直すため同組合規約の変更について協議するもの

④ し尿及び浄化槽汚泥の処分に関する事務の委託について

【内容】

- ・十和田地区環境整備事務組合の解散により同組合から承継する、し尿及び前処理を除く浄化槽汚泥の処分に関する事務を十和田市に委託することについて協議するもの

審議の結果

全員賛成で可決



十和田地区環境整備事務所

条例の制定 1件

①五戸町暮らしの道路基金条例

・歩道等の整備を目的とした五戸町暮らしの道路基金条例を制定するもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 16件

①五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

②五戸町町長等の給与に関する条例の一部改正

③五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

④五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

・①から④は、令和2年11月4日付けの青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、期末手当の支給割合を

改めるもの

⑤五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正

【内容】

・国が、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対し、防疫等作業手当の特例を定めため、本町においても同様の特例を定めるもの

⑥五戸町特別会計設置条例の一部改正

【内容】

・五戸町浄化槽事業特別会計を設置するため、所要の改正を行うもの

⑦五戸町町税条例の一部改正

【内容】

・地方税法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑧五戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

【内容】

・地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑨五戸町簡易水道事業給水条例の一部改正

【内容】

・租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑩五戸町国民健康保険税条例の一部改正

【内容】

・地方税法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑪五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

【内容】

・地方税法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑫五戸町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

【内容】

・五戸町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

⑬五戸町農集集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

【内容】

・①から⑬は、租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑭五戸町道路占用料徴収条例の一部改正

【内容】

・道路法施行令の改正に伴い、道路占用料の改正を行うため、所要の改正を行うもの

⑮五戸町下水道条例の一部改正

【内容】

・五戸都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

⑯と⑰は、租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑱五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

【内容】

・地方税法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑳五戸町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

【内容】

・五戸町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

⑳から㉑は、租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

・五戸町農集集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

・ふるさと納税寄附金 6197万2千円

・報償費(健康ポイント) 27万円

②後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 補正額(増額) 1537万6千円

③国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 補正額(減額) △297万円

④介護保険特別会計補正予算(第2号) 補正額(増額) 5918万7千円

⑤下水道事業特別会計補正予算(第2号) 補正額(減額) △170万6千円

⑥農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号) 補正額(減額) △51万5千円

⑦簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 補正額(減額) △3万8千円

⑧五戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

⑨五戸町簡易水道事業給水条例の一部改正

⑩五戸町国民健康保険税条例の一部改正

⑪五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

⑫五戸町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

⑬五戸町農集集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

⑭五戸町道路占用料徴収条例の一部改正

⑮五戸町下水道条例の一部改正

⑯と⑰は、租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑱五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

⑳五戸町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

・五戸町農集集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

・一般会計繰出金 1997万3千円

・一般会計繰入金 245万6千円

②後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 補正額(増額) 1537万6千円

③国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 補正額(減額) △297万円

④介護保険特別会計補正予算(第2号) 補正額(増額) 5918万7千円

⑤下水道事業特別会計補正予算(第2号) 補正額(減額) △170万6千円

⑥農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号) 補正額(減額) △51万5千円

⑦簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 補正額(減額) △3万8千円

⑧五戸町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

⑨五戸町簡易水道事業給水条例の一部改正

⑩五戸町国民健康保険税条例の一部改正

⑪五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

⑫五戸町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

⑬五戸町農集集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

⑭五戸町道路占用料徴収条例の一部改正

⑮五戸町下水道条例の一部改正

⑯と⑰は、租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

⑱五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

⑳五戸町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

・五戸町農集集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

8 五戸町住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第2号)

・補正額(増額) 28万1千円

・予算総額(補正後) 444万3千円

【主な内容】

・一般会計繰出金 28万1千円

9 ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 147万1千円

・予算総額(補正後) 3137万1千円

【主な内容】

・ケーブルテレビ事業基金積立金 147万1千円

・病院事業会計補正予算(第4号)

○収益的収入 1億1500万5千円

増の21億1344万3千円

○収益的支出 1億1500万5千円

【主な内容】

・入院患者数の増、新型コロナウイルス感染症

対応医療従事者等慰労

金の追加によるもの
○収益的支出 5887万6千円減の27億7721万円

【主な内容】

・職員の会計間異動や退職による人件費の減額、診療材料費やボイラー機器等の修繕費の追加によるもの

○資本的収入

209万円増の4億682万1千円

【主な内容】

・企業債及び医療提供体制整備交付金の追加によるもの

○資本的支出

442万6千円増の6億1981万8千円

【主な内容】

・病院備品費の追加、健診センターのカラー複合機リース元金の減額によるもの

補正予算に対する主な質疑

一般会計歳入

循環型社会形成推進交付金

問 和田智也議員

この交付金の内容は。

答 高谷建設課長

環境省より、浄化槽整備事業計画策定業務委託

に対するの交付金の内示があつたため、財源補正するものである。

問 和田智也議員

浄化槽整備事業計画の内容と対象地域は。

答 高谷建設課長

令和3年度から令和7年度までの5か年で、145基の浄化槽を整備する計画である。公共下水道及び農業集落排水整備区域以外の地域が対象となる。

ふるさと納税寄附金

問 鈴木隆也議員

第2期五戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略

では、ふるさと納税寄附金の目標額を1億円に設定している。

今年度、1億円を超えることがほぼ確実視されているにもかかわらず、今後この目標のまま事業展開していくのか。

答 手倉森総合政策課長

返礼品の充実など、今までの取り組みの結果だ

と思う。来年度以降も伸びていくことを念頭に置いて事業の展開を進めていきたい。

一般会計歳出

【衛生費】

報償費(健康ポイント)

問 鈴木隆也議員

現在配布されているリーフレットだけでは、ポイントが付与される適用範囲が分かりづらい。もっと明確にするべきでは。

答 赤坂健康増進課長

新たに分かりやすさを重視したお知らせを作成し配布したい。

町長追加提出案件

学校職員 佐野自治会長

条例の一部改正 1件

1 五戸町会計年度任用職員

の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

【内容】

・五戸町会計年度任用職員の期末手当の支給割合を改めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

人事 1件

1 人権擁護委員の候補者の推薦

◎野村 英治 氏(67歳)

のむら えいじ

大字切谷内字佐野



主な職歴等 八戸工業大学第二高等

学校職員 佐野自治会長

審議の結果

全員賛成で同意

陳情 1件

1 学校給食の無償化をもとめる陳情

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採 択(願意妥当・意見書の伴う議会提出案件)

全会議での審議結果

全会議で採択

議会提出案件

意見書 1件

1 学校給食の無償化を求める意見書について

【内容】

・国の責任で給食費の無償化を行うよう要望するもの

審議の結果

全会議で可決

一般質問



鈴木 隆也 議員

◆令和3年度予算の歳入見込みは

町長 地方交付税は同水準だが、新型コロナウイルス感染症の影響により町民税などは減収の見込み

新型コロナウイルス感染症対策の施策を展開し、地域経済活性化を図りたい。

質問② 予算規模などの令和3年度予算の骨格は。

答 若宮町長

歳入のうち地方交付税は、減収分を臨時財政対策債の増発で補填するため、令和2年度の水準は確保される見込みである。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による消費活動の落ち込みで、地方消費税交付金やその他の交付金の減収が懸念される。

町債は、年々減少してきており、令和元年度の実質公債費比率(※)は9・7%であり、健全化基準内となっているので、引き続き町債残高を増大させないよう努力していく。

財政調整基金(※)は、現在約16億6400万円を積み立てているが、災害対応やコロナ禍により減収が続く病院事業の経営盤安定のために取り崩しの増大が懸念される。

少子高齢化の進展による医療・介護等の社会保障関連費の増加や、公共施設の老朽化に伴う改修・更新の必要性により、財政需要が増加していくため、真に必要なニーズに応えるための予算編成に取組む、令和2年度当初予算規模に近づけるよう努めていきたい。

質問④

令和3年度の主な新規事業は。

答 若宮町長

予算編成中であり、変更の可能性はあるが、次の事業を考えている。

- ・ 広域路線バス五戸八戸駅線(上市川経由)の運行開始
- ・ (仮称)旧南部鉄道DC351里帰り事業
- ・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン予防接種
- ・ 市町村設置型公共浄化槽事業の開始
- ・ GIGAスクール構想に基づく学習者用デジタル教科書導入

これまでと同様、五戸町の最上位施策である第2次五戸町総合振興計画の将来像である「人とまちの活力で未来を拓く、共創(協創)の郷このへ」の実現に向け各種施策を進めることが重要だと考えている。

質問①

令和3年度における政策の重点事項は。

加えて、選挙公約で掲げた『新たな時代へ!!5つの五戸町づくり』の施策実行の2点を重要事項と位置付けている。また、新たな新型コロナ

◆若宮町長の選挙公約 『新たな時代へ!!5つの五戸町づくり』とは

- ① 未来へつなぐ教育のまち「五戸」
- ② 安心で、仲良く平和に暮らせるまち
- ③ にぎわいのあるまち
- ④ 農業のまち
- ⑤ 圏域市町村のつながり強化

これらの実現のために各種の施策を展開するもの。

町税収入のうち、町民税の見込みは、野菜の市場価格が前年度より回復しているため、農業所得は前年並みと予測されるものの、給与及び営業所得の減少が見込まれることから減収する可能性がある。

用語解説

※実質公債費比率

地方自治体の収入に対する実質的な借金の比率。25%未満であれば健全化基準内。

※財政調整基金

地方自治体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する。

質問③

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い子育て支援が拡充されている。令和3年度も継続するのか。

答 若宮町長

現在、保育に関する副食費の無償化や、乳幼児等医療費給付費の所得制限を撤廃した上、さらに高校生年齢まで対象者を拡大している。また、町立小中学校の給食費を無償化している。



これらの財源は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てている。国の動向や新型コロナウイルスの感染拡大が経済に与える影響などを注視し、継続の是非を調査検討する。

12月定例会では6人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



かしわだ ただのり
柏田 匡智 議員

◆倉石温泉運営事業検討委員会の目的と概要は

町長 事業の見直しを図ることを目的に、施設の老朽化対策や入浴料等について検討している

質問①

現在、倉石温泉の今後のあり方について倉石温泉運営事業検討委員会で話し合いが進められているが、地域住民の間で「廃業するのどこかについて話し合われているのではないか？」という誤解がある。

倉石温泉運営事業検討委員会の目的とこれまでの概要は。

答 若宮町長

倉石温泉は、平成3年の運用開始から29年経過しており、施設・設備の老朽化のため、多額の修繕費用が見込まれる。

また、入浴者数の減少により、年々入浴料収入が減少してきており、収入の減及び継続費の増により運営費も増加している。

このため、今後の倉石温泉の事業のあり方について見直しを図ることを目的に検討委員会を設置した。

検討委員会では、施設・設備の老朽化対策、今後の事業運営、入浴料等について検討している。

今年度中に検討委員会での意見及び検討結果がまとまった場合には、検討委員会から町に答申していただき、議会のご意見も頂戴しながら、倉石温泉の事業運営の方向性を決定する予定である。

質問②

新郷村の「木の駅プロジェクト」(※)に学び、倉石温泉の修繕を想定した際の補助事業の活用を考えていないか。

答 若宮町長

施設・設備の老朽化が進んでいる状況下において、今後長期的に使用する場合には長寿命化改修を行う必要がある。改修には多額の費用が見込まれるため、仮にボイラーを改修するとなった場合には、新郷温泉館で導入

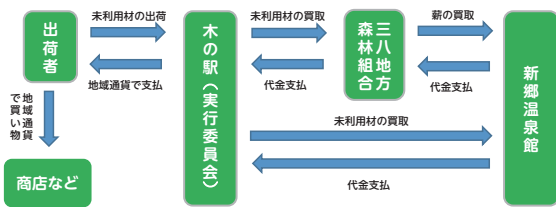
している「薪ボイラー」を含め、検討しなければならぬと思っている。

補足説明

※新郷村「木の駅プロジェクト」とは

森林所有者等が木材を「木の駅」に出荷し、森林組合を通して新郷温泉館の「薪ボイラー」で使用するシステム。木材を出荷した際、代金を新郷村限定の地域通貨(郷やま券)で受け取るため、地元商工会関係者も含めた地域活性化を図っている。

木の駅プロジェクトの仕組み



意見

薪に関しては、住民から出荷を募るわけだが、もし出荷者が想定より少なかったり、出荷量が不安定だったりした場合、町全体の財産である町有林の間伐材の活用が考えられると思う。

また、森林環境譲与税の活用によって、五戸町全体の山林の保全や間伐材の有効活用が活発化するとと思われる。より町民の皆様へ還元できる仕組みづくりを検討していただきたい。

質問③

災害時に、長期の避難所として倉石温泉の施設を活用することは考えていないか。

答 若宮町長

倉石温泉は、青森県が指定した「土砂災害警戒区域」内に立地しており、土石流や急傾斜地の崩壊の恐れがあることや、「洪水浸水想定区域」を最大

質問④

倉石温泉は、当初の設置目的である住民の健康増進だけではなく、地域コミュニティの場として多くの機能を持つ施設となった。若宮町長の倉石温泉に対する今後の思いや考えは。

答 若宮町長

倉石地区の住民にとって本場に大切なコミュニティの場であり、憩いの場であることは認識している。今は検討委員会の議論を見守りたい。



倉石温泉

一般質問

◆政治離れを解消し投票率を上げるための施策は

選挙管理委員会委員長

最も投票率の低い若年層に向けた対策を行っていく



なか がわら けんじ
中川原 賢治 議員

質問①

民主主義国家である日本では国民主権に基づき、議会制民主主義を採用している。民意を反映させるには投票率を上げることが必要だと思う。国民の政治離れが叫ばれてから久しいが、これを解消し投票率を上げるには、どのような施策があるか。

答 齋藤選挙管理委員長

近年、選挙の投票率は低下傾向にあり、特に20歳代の若者の選挙離れや政治に対する無関心が問題になっている。私たちの生活をより向上させるためには、政治に関心を持ち、政治に対して意思表示をすることが重要なことであり、選挙はその結果が私たちの生活に反映する極めて重要な意味を持っていると考える。

投票率の向上対策としては、昨年度から実施している巡回バス運行によ

る移動支援の更なる充実のほか、新型コロナウイルス感染症対策として、投票所の密を防ぐため、各支所における期日前投票所の開設期間及び投票時間を延長するなどの見直しを行っていく。

質問②

投票率を上げるためには、年代別、地域別の投票率を分析し対応することも必要だと思うが、どのように考えているか。

答 齋藤選挙管理委員長

若年層の中でも特に投票率が低いのが、18歳と19歳である。その対策の先進事例として、むつ市では昨年の市議選で、県内で初めて移動式の期日前投票所を高校に設け、投票率アップにつなげている。

しかし、当町では、五戸高校の廃校決定などの影響により高校生を対象とした啓発活動が実現できない現状にある。この

ことから、さらに若い世代の中学生の段階から、各中学校にも協力していただきながら、出前授業・模擬選挙などを行い、選挙や政治に参加する意識を育んでいきたい。

質問③

高校生を対象にすることが難しいということであれば、町内にある東北メディカル学院に向いて啓発活動を行ってはどうか。

答 石田選挙委員会事務局長

東北メディカル学院においては、令和元年11月に担当者が向いて、選挙に係る講義を行っている。機会があればまた続けていきたい。



むつ市で実施した移動式期日前投票所

◆町としての外国人労働者に対する考えは

町長 労働力不足を解消するため
の重要な課題である

質問①

日本では少子高齢化やグローバルゼーションを迎える中での労働力不足が叫ばれている。県内でも就労ビザなどで約3900人の外国人が働いているが、当町での実状はどうなっているか。

答 若宮町長

五戸町に住民登録している外国人で、就労を目的としている在留資格の方は25名で、今後も増加していくものと考えている。しかし、実際にどこでどのような仕事に就いているかまでは把握していない。

外国人労働者を受け入れたという声も聞こえてくる。しかし、県内には外国人労働者に対して日本語や日本の生活様式を教える研修機関が無い。

五戸町に外国人を支援する研修施設を設置することで、地元の人と外国人の交流を深めたり、五戸町に住んでもらったりすることによって、町の活性化につながるかと考えるが、町長はどう考えるか。

答 若宮町長

人口減少の時代において、外国の方とのようにお付き合いをしていくかは重要な課題になっていくと思う。

町として、実際に外国人とのやり取りをどの程度積極的にできるものか考えていきたい。

質問②

製造業や農業、福祉関係の職種に従事している方々から、人手不足で外



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆五戸町の名字人口やキャッチコピーを活用し、町の魅力の情報発信をしては

町長 効果が得られるかどうか検討してみる価値がある

質問①

五戸町は以前、三浦・佐々木・川村の順で名字人口が多かったが、今はどうなっているか。そして、このことを全国に情報発信する考えはないか。

答若宮町長

令和2年11月現在において、上位5番目までの順位は左表のとおりである。

この名字の順位の公表については、どのような情報発信効果が得られるものか不確定であるが、検討してみる価値があると考えている。

意見①

先進事例として、石川県羽咋市を紹介したい。元公務員である高野誠

氏は、羽咋の歴史を調べている過程で、「そうはちぼん」と呼ばれる謎の飛行物体が頻繁に目撃されていたと書かれている古文書を見つけた。

このことをきっかけに、『UFOで町おこし』をコンセプトに、「UFOうどん」を作るなど、ユニークな企画を展開した。

結果として、日本で初めて宇宙とUFO国際シンポジウムの開催を成功させ、国から信頼を得たことにより、52億6000万円の予算が下り、宇宙科学博物館「コスモアイル羽咋」を作ったという事例がある。

この事例に学び、前述で示していただいた五戸町の名字人口の上位のほとんどは、1247年の宝治の合戦から由来するものであると古文書にも書かれており、全国に視

◆町にキャッチコピーを付けることでふるさと納税受入額の増額が期待できる？

質問③

先に述べた施策を行うことで、ふるさと納税受入額の増額が期待できると私は確信しているが、町ではどう考えるか。

答若宮町長

寄附してくれる方々の意見やニーズを大切に、返礼品の充実及び価格帯の充実を取り組みを進め、ふるさと納税受入額の増額につなげていきたい。

質問②

全国の各市町村では、ユーチューバーにそれぞれの市町村の動画等を見せたり、ポスターを募集したりして、キャッチコピーを集め情報発信しているが、町で行う考えはないか。

答若宮町長

五戸町でも、地域の魅力を全国にアピールし、移住や観光促進につなげるPR活動を、ユーチューブ等を活用してできるものかどうか検討したい。

意見②

左に掲載したものは、テレビやSNSで拡散し話題となったキャッチコピーの例である。



『車がないと輝かない。』
コヤマドライビングスクール



『ツイッター? やってないけど つぶ焼くよ。』
女川ポスター展総選挙第1位

このような洒落の効いたキャッチコピーを付けることによって全国へ情報発信できるのではないかと考える。

質問④

地方にある宝に光を当ててこそ、「地方」は「地宝」の輝きを放つと考える。地宝自治体を作っていくに当たっての町長の決意は。

答若宮町長

五戸町は全国から注目される素材をたくさん持っているのですが、このことを情報発信していきたい。

一般質問



とよ た たか お
豊田 孝夫 議員

◆無償譲渡が決定したDC351ディーゼル機関車の活用方法は

町長 近隣自治体と連携したイベントやふるさと納税の返礼品に活用する



約半世紀ぶりに里帰りするDC351ディーゼル機関車

質問② 機関車の展示、保管(保存)場所の予定地は。

答 若宮町長

このへ郷土館を考えている。旧南部鉄道の志戸岸駅を復元した駅舎もあるので適地かと思う。また、保管状態を維持するために屋根付きとしたい。

質問④

この機関車は昭和31年に製造されたと聞いています。エンジンの修理などは技術の継承にもつながると思うが如何か。

答 手倉森総合政策課長

当時南部鉄道に勤めていた方などに声をかけて協力できる方々を募ってみたい。

質問③

ディーゼルエンジンなので、修理・整備によっては動かすことが可能と考えるが如何か。

答 若宮町長

エンジンを動かすことはできると思うが、車両の走行には、更なる安全性を考慮しなければならず、年間維持費もかかるため、現実的ではないと思われる。

質問⑤

これまで屋外展示されていたので、塗装の剥がれ、錆などが目立つと思うが再塗装を考えているか。また、その見込額は。

答 若宮町長

再塗装は必要と考えている。経費については、50万〜100万円を見込んでいます。塗装作業を町民参加型で行うことで、コスト削減の可能性があるとと思われる。

質問⑥

観光資源として鉄道マニアのみならず活用できると思う。五戸のおんこちゃんとのコラボレーションも考えてみては。

答 若宮町長

近隣の六戸町や七戸町にある廃線となった鉄道車両と連携させるイベントを実施してみたい。また、おんこちゃんとのコラボレーションさせて、ふるさと納税の返礼品としても活用していきたい。

◆増加傾向にある耕作放棄地の対応は

農業委員会会長 毎年農地パトロールを実施し、耕作放棄地の発生を防いでいる

質問①

農家の後継者不足、担い手不足の影響もあり、年々耕作放棄地が増えているように見受けられる。

農地パトロールの実施時期や範囲、人員等の規模は。

答 若井農業委員会会長

年1回実施している。今年度は、10月下旬に五戸町全域で農業委員、農地利用最適化推進委員、役場担当職員で行った。

質問②

畑の耕作放棄地の増減は、5年前の調査と比較して如何であったか。

答 若井農業委員会会長

平成27年度は52・9ヘクタール、前年度は40・6ヘクタールとなっており、比較すると12・3ヘクタール減少している。

質問③

農地パトロールの後、明らかに耕作放棄地と見られる農地所有者にどのような対応をしているか。

答 若井農業委員会会長

文書で利用の意向調査を行っている。

質問④

他業種(農業関係者以外)に農地の貸し出しの斡旋はできないか。

答 若井農業委員会会長

農業委員会として斡旋することはできない。

答 中村農林課長

会社等から問い合わせがあれば個別に対応する。



かわむら ひろあき
川村 浩昭 議員

◆新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した場合の対策は

町長 国が法令を定め、県が保健所単位で対策を講じている

質問①

県によると、現時点での青森県の新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れる指定医療機関の入院病床数は、201床（その内31床は重症患者用）確保しているとのことである。

現在、五戸町には感染者はいないが、いずれは出てくると思われる。もし、クラスターが発生し満床になり対応不能となった場合の対策は。

答 若宮町長

新型コロナウイルス感染症に関する「医療供給体制の整備」については、国が法令を定め、県が保健所単位で実施することとなっている。「検査体制の強化」についても、県によって県内の検査体制の強化が進められ、クラスター対策なども保健所が取り組んでいる。

質問②

国や県が動く前に、町が先に動くくらいにの危機感をもって、町としての対策やシミュレーションをしておくべきでは。

答 大久保副町長

ご指摘のとおりで、町としてもどんどんやりたいが、今の制度では町独自ではできないのが実情である。

意見

新型コロナウイルス感染症は、大きな災害の一つだと思う。いざというときに自衛隊の派遣を要請できるようにするなど、町民の安全安心のために町長から県知事へ要望していただきたい。



三戸地方保健所

◆倉石温泉と五戸町社会福祉センター浴場の今後の運営は

町長 検討結果を踏まえて方向性を決定したい

質問①

以前にも何回か質問したが、倉石温泉及び五戸町社会福祉センター浴場の入浴料は、五戸町民にも関わらず、年齢や居住地によって差が生じている。今後どのように運営していくのか。

答 若宮町長

倉石温泉については、今年度、入浴料も含めた今後の倉石温泉の事業のあり方について検討するため、倉石温泉運営事業検討委員会を令和2年5月に設置し、現在検討中である。検討委員会の検討結果を踏まえ、議会のご意見も頂戴しながら、方向性を決定したいと考えている。

五戸町社会福祉センター浴場については、完成から29年経過しており、施設の老朽化が見られる。

質問②

今年度中に策定予定の長寿画計画の結果を踏まえ運営等を検討していきたい。

質問③

旧五戸・倉石地区で入浴料に差が生じていることにそもそも疑問を感じているが、なぜ早急に対処できないのか。

答 大久保副町長

倉石温泉と五戸町社会福祉センター浴場の入浴料は、旧五戸町と旧倉石村が合併する際の合併協議会で定めている。

合併当時と実状が変化しているため、検討委員会の答申がまとまり次第、議員の皆様と協議して対処していきたい。

◆ひばり野地区宅地造成分譲の方法は

質問①

令和2年10月の経済常任委員会所管事務調査（詳細は11P）で、ひばり野地区宅地造成分譲について説明していただいた。

答 若宮町長

申し込み条件としては、例えば夫婦のいずれかが満40歳未満である世代を対象とすることなどが考えられる。

この企画は、人口減少に歯止めをかけ、町活性化につながる素晴らしい事業だと思うが、造成後はどのような方法で分譲を進める予定なのか。

広報活動については、東京都に今年9月にオープンしたエイトベースを活用し、町外からの移住希望者に対しても幅広く情報提供したい。

所管事務調査

総務常任委員会

委員長 大沢 義之
委員 和田 智也

副委員長 三浦 俊哉
委員 川崎 七洋

委員 松山 泰治

令和2年10月30日実施

◆指定避難所における現状を調査

五戸町立公民館、農村環境改善センター(川内支所)をはじめ、19か所を指定避難所とし、町内主要指定避難所を中心に毛布、水、食料品等を備蓄している。避難所開設訓練を年1回程度実施し、開設の流れ、備蓄品の取り扱い、備蓄状況等についての確認を行っている。

◆五戸町立公民館の太陽光発電設備を視察

停電した場合でも電気使用を可能とし、避難所としての機能強化を図るとともに、通常時は

太陽光発電の電力を館内で使用し、電気料金を少しでも抑えることを目的に設置している。



備蓄品について総務課の担当職員から説明を受けた



町立公民館の太陽光発電設備

経済常任委員会

委員長 古田 陸夫
委員 柏田 匡智

副委員長 川村 浩昭
委員 豊田 孝夫

委員 中川原賢治

令和2年10月14日実施

◆建設課所管事業「内山沢火山砂防事業」などを調査

「内山沢火山砂防事業」とは、大字手倉橋の内山沢は、溪岸浸食や山腹崩壊により河床に不安定土砂が堆積している地区で、集中豪雨等の際には土石流発生の恐れがあるため、土石流被害を未然に防ぐことを目的に砂防堰堤を整備する事業。このほか、町道大字扇田西ノ沢剣吉線の神明橋、ひばり野地区宅地造成事業についても現地調査を行った。

◆農林課所管事業「ふれあい市ごのへ」と「地蔵平地区通作条件整備事業」を調査

「ふれあい市ごのへ」における新型コロナウイルス感染症対策として、正面とトイレの入り口

に自動ドアの設置、トイレの改修及びサーマルカメラの設置を予定している。

「地蔵平地区通作条件整備事業」とは、農業振興に必要な農道の整備を実施することにより、地蔵平地区における生産基盤の将来にわたる適切な維持・保全を図ることを目的とした事業。



建設課及び農林課の担当職員から説明を受けながら現地視察を行った



民生常任委員会

委員長 鈴木 隆也
委員 尾形 裕之

副委員長 大久保和夫
委員 沢田 良一

委員 三浦専治郎

令和2年10月23日実施

◆消防団の現状と課題

消防団員定数を570名と条例で定めているが、令和2年10月1日現在の団員数は427名となっている。この団員定数は、五戸町と旧倉石村が合併したときに定めたものであり、団員数が年々減少している現状では、当時決められた体制での活動が今後困難になることが予想される。

◆消防団の統合及び再編計画の進捗状況を調査

概ね10年後(令和11年度)までの統合再編・広域化を目標とし、現行の4方面隊制は継続し、

各方面隊の組織を再編する。これにより、各消防団のカバーする地域は広がるが、消防車両や屯所などを適正な配置で集約し、消防団員が活動しやすい環境づくりを進めていく。



総務課の担当職員のほか、類家消防団長にも出席していただき調査を行った

鈴木隆也議員

生年月日:昭和52年3月7日(43歳)

担当委員会:議会運営委員会

民生常任委員会(委員長)

広報常任委員会

当選回数:2回

●議員インタビュー

町民の皆様に議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎月1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。

今回は民生常任委員会の委員長を務める「鈴木隆也」議員へのインタビューです。

(インタビュー…
広報常任委員長 川崎七洋)

A 鈴木隆也議員

家で造園業を営んでおります。これは父が興した会社です。仕事の内容は、個人を中心としたお客様の庭の手入れが主なものです。私は現場のほか、営業にも出ています。

A 鈴木隆也議員

そのようなこともありましたね(笑)。他にやれる人がいなければ、どんな状況であれ、私がやらなければいけませんので。

Q 他の議員の皆さんも

そうなのですが、お仕事と議員の両立はなかなか大変ですよ。鈴木議員は子育て世代でもありますよね。

Q 夏の時期に開催された議会でお会いたした時に目焼けされていたのを覚えています。冬は除雪もされているとお聞きしましたか？

A 鈴木隆也議員

そうですね。町の要請に従って町内の除雪にも携わっています。実際に除雪車の運転をすることもあります。

A 鈴木隆也議員

はい。子どもが4人います、順番に高校生、中学生、小学生、一番下は3歳です。私の両親と同居していますので、手分けして何とか子育てできています、という感じですね。特に妻には本当に感謝しています。妻の支え無くして子育ても議員活動も絶対にできません。なかなか口にすることは少ないですが、感謝しない日は無いです。

Q 本日はよろしくお願

いします。

さっそくですが、普

段の生活のご様子からお伺いしたいと思います。お仕事はどういったことをされているのですか？

Q 町議会議員選挙の最

中に選挙カーを降りて除雪車に乗り換えたいという逸話は本当の話なんですよ(笑)。

議員インタビュー

Q 4人もお子さんがいらっしゃるのは素晴らしいです。私も妻への感謝を忘れないようにします。

そうですね、最近は一入っ子というのあまり聞かれなくなりましたね。

私の周りでも、結婚して子どもがいるご家庭は、多子世帯であることが多いですね。自治体の子育て支援を拡充してきた成果のかなと受け止めています。

A 鈴木隆也 議員

地域の未来に危機感を持つている人が多くなってきたこともあると思いますので、今後は未婚の方に注目すべきであると感じています。

Q それは私も感じているところですが、

議員を志したのも未来への危機感からでしょうか？

A 鈴木隆也 議員

そうですね、と言ったら格好いいですが、実は違います。政治には無縁の家柄ですし、私自身、全く興味がありませんでした。しかし、私が居住する地域で永年頑張ってきたられた鈴木繁盛元町議の引退に際し、私に白羽の矢が立ったのが、そもそもの始まりです。

当然、議員になった以上、未来への危機感を抱いて活動しています。私が生まれ育った大字上市川は、五戸町としては外れの方に位置しています。町の文化・経済圏は中央にあります。大字上市川の周辺に目を向けると、八戸市やおいらせ町、六戸町に近く、発展の可能性が大いにあります。

大字切谷内を含め、川内地区が発展することは、五戸町全体の発展のための重要な要素だと思いますし、実現可能なことだと思っています。



門松づくりは師走の大事な仕事です

Q やはり目の付け所が鋭いと感じます。地域の活動などもさ

れているのでしょうか？

A 鈴木隆也 議員

私が積極的に、というのはあまりないですね。人材豊富な地域だと思いますので(笑)。ただ、必要とされることには全力を注ぎますが。

地域での活動としては、地元の消防団に所属しているほか、猟友会や八戸ライオンズクラブにも所属しています。

Q 猟友会ということは、害獣駆除にも出られているのでしょうか？

また、ライオンズクラブとは、こういった活動をされている組織なのでしょうか？

A 鈴木隆也 議員

猟友会では、カラスや熊などの駆除に出動しています。やはり農業被害の拡大や住民が危険に晒されるのは大変なことです。ライオンズクラブとは、

「We Serve(われわれは奉仕する)」を標語とし、地域の発展のための奉仕活動をする団体です。五戸のライオンズクラブが解散になりましたので、現在は八戸ライオンズクラブに所属しています。



この日は愛犬とキジ獵へ

Q 消防団、猟友会での害獣駆除、そしてライオンズクラブでの活動と、郷土愛にあふれる方だなと感じます。

今後の議員活動に期待してしましますが、こういった事をやっていきたいとお考えですか？

A 鈴木隆也 議員

そうですね。やはり議員である以上、1期ごとに目標を持つべきだと思います。

私は令和2年2月の町議会議員選挙で、県道20号八戸三沢線に産直広場を作りたいと訴えて当選させていただきまして、これで、これに全力を尽くしたいと思います。

また、第二の上市川町地も必要だと思っています。「空き家が増えていくのに」という批判はありますが、利用したい人の層は全く異なると思いますので、空き家



上市川を縦貫する県道20号は交通の要衝

対策とは別の問題として検討を続けていきたいと思っています。

五戸町に元々ある地域性を生かし、伸ばせるところは伸ばして、地域の皆さんに取り組んで欲しいことは協力してもらって。外から力をかけて無理やり発展させるのではなく、自然に発展していくという姿が理想だと感じていますので、その実現に向けて努力を続けていきたいと思っています。

ありがとうございます。期待しています。

(了)

青森県褒賞受賞

三浦俊哉議員が、町議会議員として35年以上(令和2年7月31日現在)在職し、公共の福祉の向上や地方自治の振興発展に貢献したとして、青森県褒賞を受賞した。

なお、三浦俊哉議員の御尊父である故・三浦吉三郎元町議も青森県褒賞を受賞しており、親子二代での受賞となった。

本来であれば、令和2年11月25日に青森市にて、令和2年度青森県褒賞式が開催される予定であったが、県内の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み中止となった。

以上のことから、令和2年12月4日第9回定例会閉会后、青森県褒賞伝達式を執り行い、三浦専治郎議長より褒状と銀杯が伝達され、その御功労と御功績に深く敬意を表した。



三浦俊哉議員の主な経歴

昭和59年2月に五戸町議会議員に初当選。以来、連続9期36年有余の長きにわたり在職し現在10期目。この間、平成11年12月から平成20年2月まで五戸町議会議長を務めるなど議会の運営に尽力。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が騒がれてから一年が過ぎようとしています。仕事・飲食・行事等、多くの生活様式が変化しました。その変化に対応すべく、五戸町議会においても、例年より多く臨時会を開催し、審議・議決することで町民の生活と健康を守り、福祉の向上に努めてまいりました。

しかしながら、未だ多くの課題に対して、町民の皆様からの声をいただいております。行政と議会が一丸となつて乗り越えていかなければならないと思っています。

また、五戸町への帰省を自粛せざるを得ず、残念な思いをされた方も多くいらっしゃる。改めて家族や地元とのつながりの大切さを感じさせられます。

だからこそ、元気な町の姿を発信し続け、コロナ禍の先に、誰もが帰って来たいと思う明るい五戸町を、町民の皆様と共に守り創っていきたいです。

委員 柏田 匡智

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月10日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和3年4月発行予定です。

発行責任者
議長 三浦 専治郎
令和3年1月22日発行

委員 長	川崎 七洋
副委員 長	豊田 孝夫
委員 員	和田 智也
委員 員	柏田 匡智
委員 員	鈴木 隆也
委員 員	大久保 和夫

広報常任委員会